

目次

1 高次脳機能障害を学ぼう

1. 高次脳機能障がいを学ぼう

第26回 内服自己管理に向けて 看護の視点から

高次脳機能障害を抱えながら生活する中で、大切なことの 하나가服薬です。脳損傷や脳卒中の患者さんの多くは、再発予防のために薬を飲んでいきます。中には、血栓ができにくくする薬やてんかんの予防薬など確実に服用しなければならない薬も多くあります。服薬管理は再発予防の視点からもとても大切な治療と言えます。

今回は、高次脳機能障がい者が服薬管理するために必要な支援のポイントをご紹介します。

～自己管理に向けたポイント～

1. 服薬の大切さについて知識を深める。

ご本人、ご家族へ病状や再発リスクを医師から説明してもらう。

2. 飲み忘れがある時は服用している薬について再検討する。

服用している薬の種類や飲み方を見直して、自己管理しやすい飲み方に変更できるか医師に相談する。

例) 朝、昼、夕の薬を朝、夕の二回に変更できないか? など

3. 薬の個数や、種類を視覚的に掲示したり、お薬ケースやお薬カレンダーなどの代償方法を活用する。

アプリを使った服薬管理もあります【おくすり手帳アプリ】

薬の名前、服薬日数、服薬間隔を登録すると、服薬時間になると知らせてくれます。カレンダー形式で服用履歴も確認できます。



一日分の薬を入れるケース



お薬カレンダー

○高次脳機能障がい者の服薬管理に必要なことは繰り返して習慣付けることです。しかし、疲労や環境の変化によりうっかり飲み忘れることがあります。飲み忘れが続いてもすぐ体に支障が出ない場合、服薬を中断してしまう方もいますが、それによって再発リスクが高まる可能性があります。再発を最小限に、安全で安心した生活が送れるようご家族や支援者など周囲のサポート体制も必要です。

~~27年~~
28年

知ってますよ。

今年の日記や記録に

H27年と書いてしまった
ことを。